

令和4年度 第1回 帯広市行財政改革推進委員会 議事要旨

日時：令和4年10月3日（月）午後1時30分～午後2時20分

場所：帯広市役所 10階 第2会議室

□ 出席委員

岩本博幸委員長、相内宣人委員、河西智子委員、坪沙代委員、三品幸広委員

□ 事務局

総務部 河原職員監

総務部 組織人事室 人事課 天池人事課長、藤芳行政改革主幹、千葉人事・行革係長、東主任補

□ 傍聴者等

報道関係者1名

□ 会議次第

1 開会

2 交代委員紹介

3 本委員会について

4 議題

(1) 帯広市行財政改革計画の取組状況について

(2) その他

5 閉会

□ 議事概要

発言者	時程	内容
事務局	13:30	これより、令和4年度 第1回 帯広市行財政改革推進委員会を開催する。 本日、委員6名中、5名の出席をいただいているため、帯広市行財政改革推進委員会設置要綱第7条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。 (会議趣旨説明、資料確認)
事務局		はじめに、委員の交代があったため、ご紹介させていただく。 (相内委員から挨拶)
事務局 委員長		今後の議事については、設置要綱第6条第2項の規定により、委員長が議長を務めることとされていることから、岩本委員長より、進行をお願いします。 (委員長から挨拶)
委員長	議題(1) 13:35	はじめに、(1)「帯広市行財政改革計画の取組状況について」を議題とする。 事務局から説明されたい。

事務局		<p>(資料2・3に基づき、取組状況について説明)</p> <p>説明は以上である。</p> <p>委員の皆様には、計画の進捗及び成果について、忌憚のないご意見を頂戴いただければと考えている。</p>
委員長		<p>ただいまの事務局からの説明に対して意見や質問があれば発言願う。</p>
委員		<p>公立保育所の民間移管について、兄弟で別の保育所を探さなければならないなど不安に思う保護者も多いと考えられる。再編内容の見直しを検討する際には、利用者のニーズを十分に汲み取った上で、改善・見直しを行っていただきたい。</p>
事務局		<p>市民や議会からも同様の意見を多くいただいている。当初計画していたよりも保育需要が減っていないことから、再編内容の見直しをしているところ。3歳になったら転園しなければならないなど利用者に負担が生じてしまう部分についても保護者等の意見を参考にしながら、来年2月頃を目途に新たな再編計画を検討していく考え。今回、いただいた意見については、改めて担当部署に共有する。</p>
委員		<p>指標1「まちづくりのために有効に税金が使われていると思う市民の割合」について、この数値のもととなるアンケートはいつ頃実施されたものか。また、時代背景もあると思うが、数値が下がってしまった要因として、新型コロナウイルス感染症への対応のような、市民が身近に感じるものが関与したからなのか、それとも他に具体的な原因があるのか、分析をされているのであればお聞きしたい。</p>
事務局		<p>本年4月から5月にかけて実施した市民まちづくりアンケートの設問項目として聴取している。また、数値が下がった理由は大きく分けて2つあると考えている。</p> <p>1つ目は、税金がそもそもどこに使われているかわからないという理由。</p> <p>2つ目は、税金が自分の身近なところに使われている実感がないという理由。例えば、市民に現金が支給されるような直接的な取組であれば実感につながりやすいと考えている。特に令和4年度は令和3年度に比べて2つ目の理由の割合が増えているのが現状。</p> <p>時代背景や新型コロナウイルス感染症の影響で生活等が苦しくなった人が多い中で、税金の使い方についてシビアな見方がされているという一面も大きいと考えている。</p>
委員		<p>行革の成果をPRするタイミング等も関連するため、一概にこうしたらいいという話ではないと思うが、何か工夫が必要。</p> <p>また、コミュニティセンター分室機能を廃止することによって、人件費の削減等の費用対効果はシミュレーションされているのか。</p>

事務局	<p>現在、コミュニティセンターに配置されている職員は分室業務以外に貸館業務等も行っているため、分室機能が廃止になったからといって、職員がゼロになるわけではない。そのため、人件費に関してはそれほど大きな削減効果はないと考えているが、マイナンバーカードにより各種証明書がコンビニエンスストアで取得できることになれば、コミュニティセンターとコンビニエンスストアの数の比較から言っても市民にとって利便性が向上することは間違いない。何年後に分室機能の廃止ができるか、今の段階では確定的なことは言えないが、今後のマイナンバーカードの交付率や、コンビニ交付の利用状況を包括的に見ながら判断していきたい。</p>
委員	<p>「月間の時間外勤務時間が45時間を超えた職員の数」については、該当職員数は提示されているが、全体職員数に対する割合の状況はどのように推移しているのか。</p>
事務局	<p>1人当たりの時間外勤務に注目すると、令和2年度から令和3年度にかけて若干増加している。見方によって評価が変わってくるため、捉え方が非常に難しいところ。</p> <p>全職員に対する該当職員の割合については、近年、正職員の数は、ほぼ横ばいで推移していることから、該当職員の割合についてはそのまま減っていると捉えていただいても差し支えない。ただ、現状としては新型コロナウイルス感染症が業務量に複雑な影響をもたらしており、例えば、観光系の部署では新型コロナウイルス感染症でイベントが実施できなくなったことにより時間外が減っている一方、コロナワクチン接種に関する業務をはじめ国の各種対策予算に係る補正予算の件数が増えたことにより、財政部門を中心に時間外が増えている。</p> <p>人事部門としては、それらの部署に対して増員なども含めて対応しているが、全体数としては45時間を超えた職員数は減ってきているものの、部署間で偏りがあるのも事実。</p>
委員	<p>国の動きに対して、その都度対応しなければならないことから、どうしても短期的に対応しなければならないし、そういう分野については、RPAの導入により時間外を減らすのは難しいと思われる。</p>
委員長	<p>いまだ、新型コロナウイルス感染症が大きな影響をもたらしているが、新型コロナウイルス感染症に関連する時間外勤務を差し引いた場合、つまり新型コロナウイルス感染症が無かったものとして仮定した場合、状況はかなり変わってくると考える。</p>
委員	<p>指標1「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合」について、設問自体が非常に難しいものと捉えている。</p> <p>例えば、市民に現金が給付される事業があったとして、その財源が国の交付金なのか、市の自主財源なのかを正確に理解することは難しいと思う。令和6年度</p>

	<p>までの指標のため、簡単に変えられるものではないと思うが、次期計画を策定する際には工夫が必要と考える。</p> <p>また、指標2に関連するが、時間外縮減の取組については、いくら時間外勤務をしないように指導をしても、平日に早く帰った代わりに休みの日に出てきて仕事をする職員もいる。どうにかして業務を平準化していく取組が必要と考える。十勝総合振興局としても、新規感染者数が増加すると保健所がパンクしそうになるので、他部署や帯広市などから応援をしてもらっている。時間外勤務に対する新型コロナウイルス感染症の影響については、仕方ないと捉えるしかない部分が多いのが現状。</p> <p>1点質問だが、今年度から新たに火葬場で指定管理者制度を導入したとのことだが、今後、新たに導入の可能性がある施設はピックアップされているのか。</p>
事務局	<p>現時点では具体的には申し上げられないが、何か所か検討を進めているところはある。</p>
委員	<p>道庁では金曜日をテレワーク推進の日としている。ただ、新型コロナウイルス感染症がピークのときは職場にいる人数を減らそうという動きもあったが、現時点ではなかなか利用が少ないのが現状。濃厚接触者になったので、仕方なくテレワークを選ぶといったケースが多い。なぜその取組が必要なのかというところを押さえながら取組を進めていくことが重要と考えている。</p> <p>ちなみにキャッシュレス決済については、コンビニエンスストアに行って支払いをする際に現金以外で支払い可能になったという意味か。</p>
事務局	<p>昨年度は、戸籍住民課などの窓口における住民票などの諸証明交付の支払い時にキャッシュレス決済を選択できる仕組みを導入したが、今年度から開始した市税料金等へのキャッシュレス決済に関しては、スマートフォンで納付書のバーコードを読み取り、アプリで支払いが完結する仕組みとなっている。</p>
委員長	<p>本日の会議で出た論点としては、市の取組に関する満足度（指標1）と、時間外勤務（指標2）の話題が多く取り上げられた。</p> <p>指標1の市の取組に対する市民の評価については、総合計画の指標にもなっており、簡単に変えられるものではないと理解している。</p> <p>この点について成果を出していくのは難しいと認識しているが、行財政改革計画の中で、ある程度取組が進んでいるものについて認知をしてもらうことが重要だと思う。</p> <p>議会等を通じて市民に公表していると思うが、そこからワンステップ踏み込んで、より直接的に市民に伝えていくための工夫が必要。</p> <p>市が自らの成果を発信するのは心理的にハードルが高いと思うが、しっかり取り組んだ成果は公表しないともったいない。海外の自治体の例を挙げると、市のホームページのトップページに取組成果を掲載し、アピールするなどの取組がされている。何かしらの形で検討いただきたい。</p>

		<p>また、新型コロナウイルス感染症の影響という不測の事態と、世の中がこれからのように進んでいくのかというトレンド、この2つを分けて、ビジョンを明確に持つことで、行財政改革計画の取組で何が効果的なのかということを選別していく必要があるのではないか。</p> <p>例えば、保育所の再編ひとつをとっても、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が悪化し、共働き世帯が増え、結果として保育需要が増えているとも考えられる。また、十勝では専業主婦・パートをしている方が一定数いらっしゃると思うが、これから先、共働きが当たり前となることも考えられる。そうなった場合に保育所の在り方など柔軟に対応できるかを考えていく必要がある。</p> <p>また、ICTの活用によって、コロナ禍の中で役所に行かなくても非接触で手続き等ができるようになったという利便性だけでなく、障害のある方が自宅で申請できるなど、色々な方がサービスにアクセスしやすくなるといったメリットもある。そういったメリットも発信してほしい。</p>
委員長		<p>他に意見等はないか。</p> <p>(意見等なし)</p>
委員長		<p>意見が無いようなので、この議題については、これで終了する。</p>
委員長	議題(2) 14:15	<p>つぎに、(2)「その他」を議題とするが、事務局から何かあるか。</p> <p>(特になし)</p>
委員長		<p>特に無いようなので、この議題について、これで終了する。</p>
委員長		<p>最後に、全体を通じて、各委員から意見等はあるか。</p> <p>(意見等なし)</p>
委員長		<p>特に無いようなので、事務局より連絡事項をお願いする。</p>
事務局		<p>次回の開催時期については、令和5年2月頃を予定している。時期が近くなったら、別途、ご案内させていただきます。</p>
委員長	14:20	<p>本日は、各委員から、様々なご意見をいただいた。市の方で、しっかりと活用し、今後のさらなる取組につなげていくようお願いしたい。</p> <p>以上をもって、本日の議事は全て終了する。</p> <p>(以上)</p>